

みえ成果向上サイクル

～県民の皆さんに成果を届けるために～

三重県総務部行財政改革推進課

中村 里会子



本日の発表内容

- 1 取組の経緯
- 2 従来の仕組みと問題点
- 3 「みえ成果向上サイクル」の概要
- 4 「みえ成果向上サイクル」の特長
- 5 関連情報の集約(オールインワンシステム)
- 6 組織、人材面
- 7 さらなる改善に向けて

1 取組の経緯

現システムは3代目

北川正恭知事による行政改革の一環として、平成8年度に「事務事業評価システム」を導入

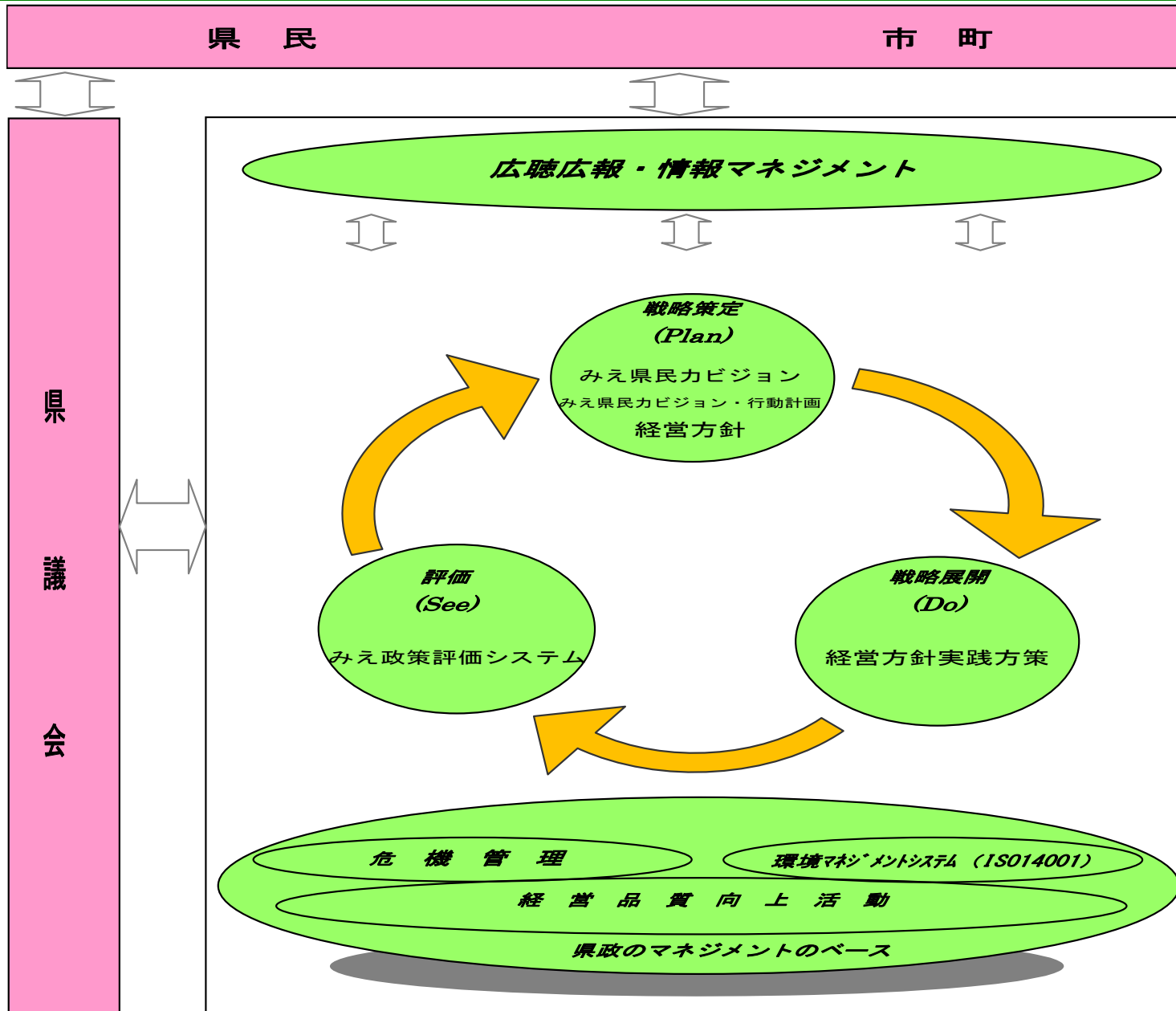


平成14年度から「みえ政策評価システム」に（「みえ行政経営体系」における評価部分）



平成25年度から「みえ成果向上サイクル」に

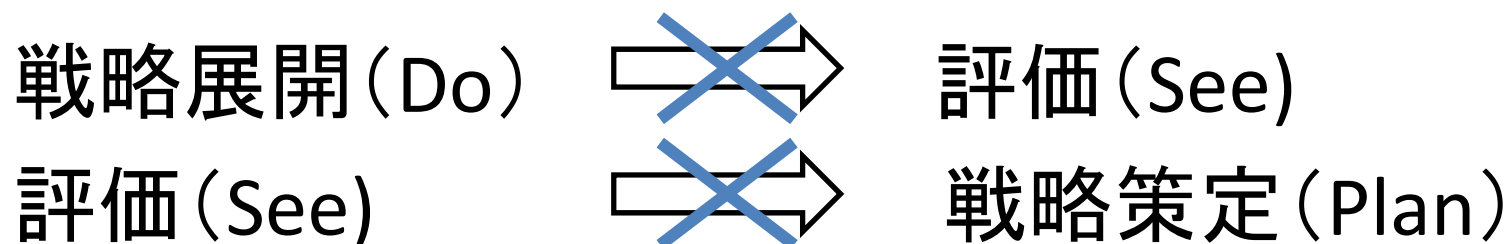
2 従来の仕組みと問題点(1)



2 従来の仕組みと問題点(2)

見えてきた2つの課題

課題① 仕組み間の連携が不十分



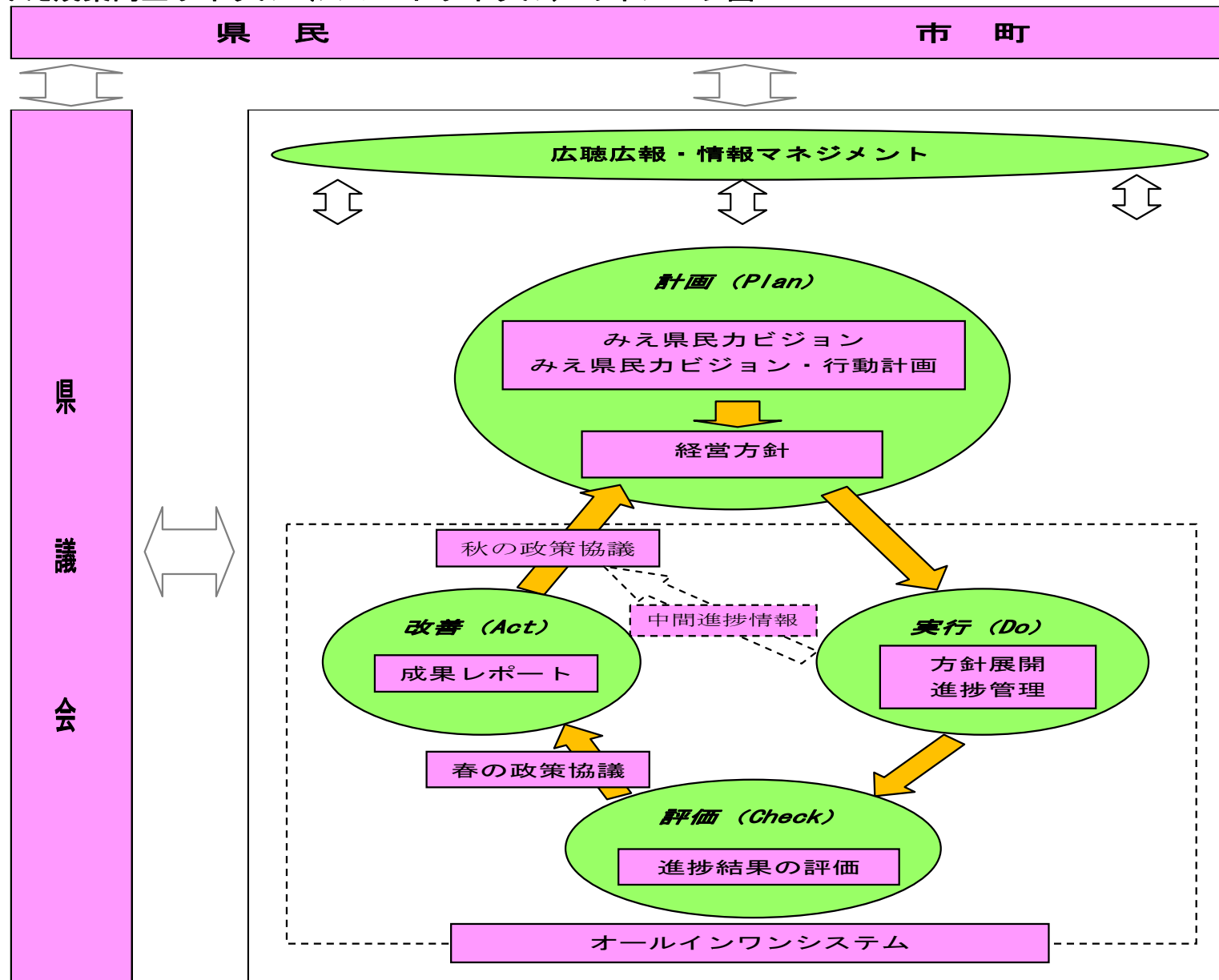
評価結果が活かされるのは次々年度

課題② システムの複雑化

みえ政策評価システムとの連携のない他の
マネジメントシステムが複数存在

3 「みえ成果向上サイクル」の概要(1)

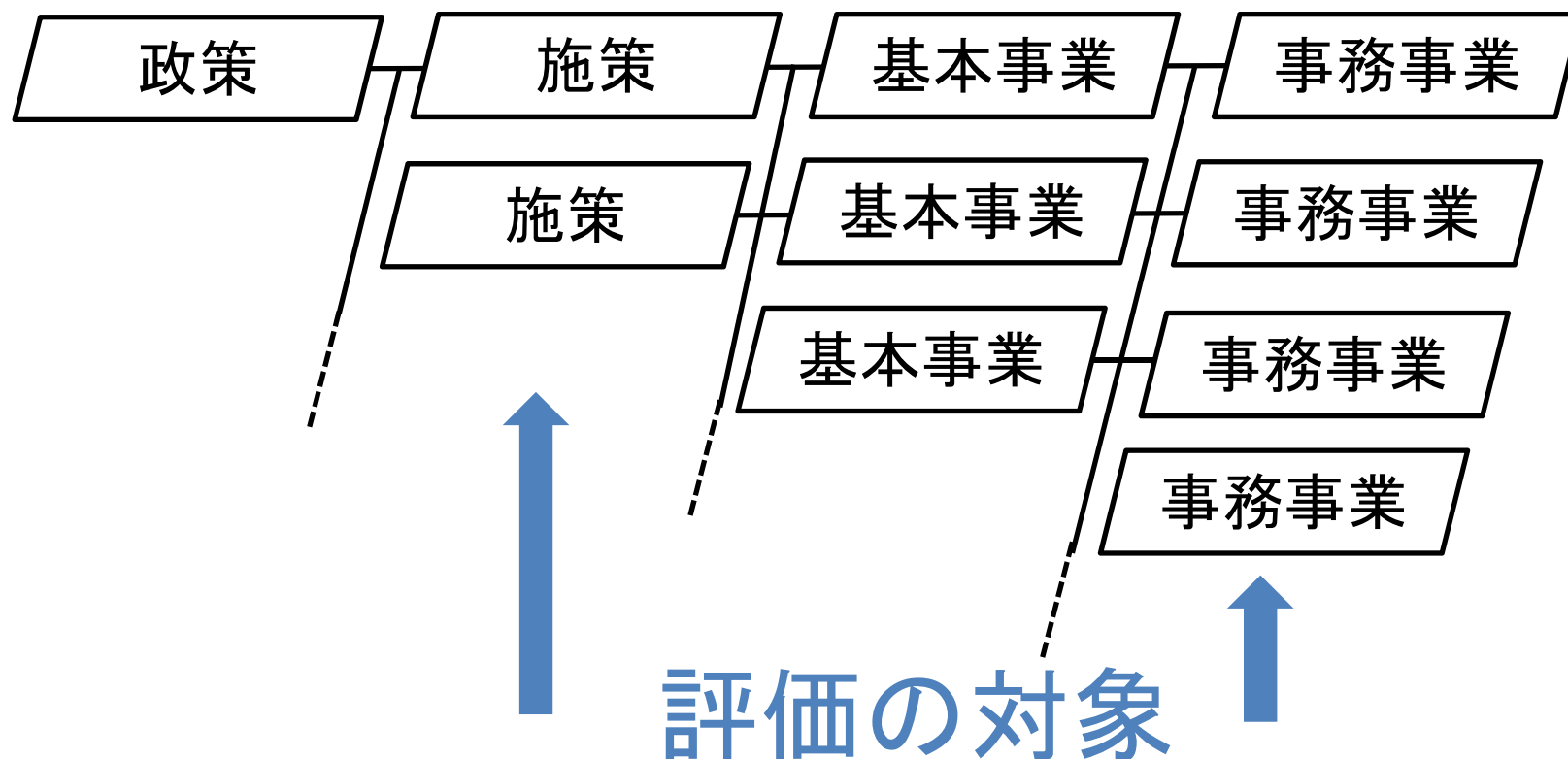
みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）のイメージ図



3 「みえ成果向上サイクル」の概要(2)

事務事業レベルで評価を実施

総合計画「みえ県民カビジョン」



3 「みえ成果向上サイクル」の概要(3)

2つの指標で評価

- 総合計画に記載された「**県民指標**」と「**活動指標**」を利用
- 施策の進展度は、A～Dの4段階で判断

※県民指標・・・各施策において、その施策に関わる様々な主体の取組によって得られる最終的な成果を表す。施策の進行管理において基本的な指標としている。

※活動指標・・・県が、施策を構成する基本事業として取り組んだ成果を表す指標。県民指標を補足する指標として用いる。

4 「みえ成果向上サイクル」の特長(1)

新たな仕組みを構築

- ① タイムリーな事業環境の反映
→ 事中評価(中間評価)の導入
- ② 評価、改善を確実に計画に反映
→ 春・秋の政策協議
- ③ みえ行政経営体系の仕組みの連携強化
→ オールインワンシステム

4 「みえ成果向上サイクル」の特長(2)

事中評価を導入

- 事業進捗や組織運営に関し、**上半期**の進捗状況を確認
- **下半期**の事業遂行、組織運営へ反映
次年度の事業計画、予算編成へ反映
- 事中評価の結果に応じ、**下半期**の取組の見直し

4 「みえ成果向上サイクル」の特長(3)

評価を確実に計画へ

評価、改善を確実に計画につなげるマネジメントサイクルの構築

◆春の政策協議

- ・前年度の取組を評価(成果と残された課題)
- ・現年度の取組方針を確認

外部意見を活用
(ブラッシュアップ懇話会)

◆秋の政策協議

- ・現年度の上半期の進捗状況を確認
- ・次年度の重点化施策決定、「経営方針」案の協議

4 「みえ成果向上サイクル」の特長(4)

汎用性ある「事業マネジメントシート」

総合計画に掲げた目標や事業目的等を着実に実現・達成していくために進捗管理していくシート(9月に作成開始)

- ・事務事業単位から作成
- ・次年度の戦略・予算などの検討資料
- ・成果に対する対外的な説明責任を果たす「成果レポート」につながる評価資料
- ・関連情報の集約(オールインワンシステム)

5 関連情報の集約

「オールインワンシステム」で一元管理

- さまざまな場面で必要とされる情報を
一元的に管理する仕組み
年間計画策定・目標の設定 計画の進捗管理
事業評価 政策協議 事業見直し 予算要求
勤務評価 事務引継 予備監査資料 成果レポート
- 成果レポート(成果の対外的な説明)
春の政策協議で確定した評価結果をとりまとめ、
県民や議会に公表

6 組織、人材面(1)

組織目標・個人目標とも連動

◆組織マネジメントシート

- 全管理職員が作成
- 組織の年間の行動計画や目標を明確にし、進捗管理を行う
- 所属の業務計画、運営計画を記載

6 組織、人材面(2)

◆組織マネジメントシート

1 所属の業務計画

- 使命、存在目的
- 業務、取組内容や目標
- 成果と残された課題、改善のポイント

2 所属の運営計画

- 職員力、組織力の向上の取組
- 業務改善の推進

管理職員の勤務評定
にも活用

「みえ成果向上サイクル」の年間スケジュール

	計画	評価	マネジメントシート	公表
4月	春の政策協議 年度計画の確定	春の政策協議 前年度の評価	事業MSの更新 組織MSの作成	
5月 6月			期首面接	成果レポート の策定・公表
7月		外部有識者の意見		
9月	中間進捗の確認 秋の政策協議	中間進捗の確認 秋の政策協議	中間面接	
9月 ～	次年度計画の策定 予算要求・編成		次年度の事業MS の作成	
2月 3月		年間実施結果の 確認	期末面接 事業MSの引継	予算発表

6 組織・人材面(3)

トツプのリーダーシップ

取組の果実を
県民の皆さん
に届けよう

県政は
オープンで
ありたい



自らの頭で考え
自ら行動し
積極的に取り組
んでほしい

絶えず変化
していくこと
が必要

三重県知事 鈴木英敬

7 さらに改善に向けて

これからも常に改善を

いくつかの課題認識があり、部局の意見も聞きながら改善し続けている。

サイクルの目的である、総合計画の目標が少しでも達成されるように、その成果が県民に届くように、最善の運用を目指していきたい。